

令和4年度 第4回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年1月26日（木） 15時30分から16時45分
2. 開催場所 天竜中学校 2F 被服室
3. 出席委員 鈴木滋芳、鈴木景子、中村まゆみ、匂坂典男、西尾和史
伊藤太一（学校支援コーディネーター *以後CDで表記） 〈敬称略〉
4. 欠席委員 米山英二、渡邊章好、小枝潤之、木戸京子 〈敬称略〉
5. 学 校 野秋愛美（校長）、神谷利之（教頭）、廣田憲一（主幹教諭）
佐野正已（校務アシスタント/CSディレクター）
6. 傍聴者 無
7. 協議事項 (1) 学校関係者評価について
(2) 学校運営協議会の自己評価について
(3) その他

8. 浜松市教育委員会から
9. 会議録作成 CSディレクター 佐野正已
10. 会議記録
 - ・議長は鈴木会長に願います。
 - ・出席委員6名 委員の過半数出席につき会議は成立
 - ・前回の会議録について委員からのご指摘は無く、了承されたものとした。

－ 協議事項 －

(1) 学校関係者評価について （廣田主幹教諭）

令和4年度浜松市立天竜中学校学校評価報告書参照

○生徒の評価 生活、学習のアンケートはともにほとんどの項目で85～95%の結果で肯定的な意見が多かった。また保護者の評価も概ね80～90%超の結果である一方、項目4の「学校は、個に応じた学習をしている」と項目13の「家庭で、家庭学習（宿題や自主勉強など）をする習慣がつくようにしている」はともに60%前後と低い。教師の側の意見としては学習意欲は向上しているものの定着の度合いが低いと考えている。そこで今後の改善方法として、以下3点を行うこととした。

①学習習慣定着のため、冊子「学びのすすめ」を活用する。

②タブレット等のICTを活用し、学習意欲の向上をはかる。

③進路講話を3年次でしていたものを1年次から実施するとか、3年生から2年生1年生に中学校の間に取り組むべきことなどについてアドバイスする場を設ける等の手立てを講じたい。この会議を通じて良い案を頂きたい。（廣田）

・学校生活は落ち着いていて充実していると思っている。アンケート結果は高い評価であるが、全てが良いわけではない。「困ったとき、相談できる先生がいる」が86%であるのが気になる。（匂坂）

→各クラスで4～5名くらいは困っている生徒がいると思われる。担任だけでなく、学年の他の先生や他の学年の先生とか、教師の側から積極的に生徒にかかわっていききたい。

（廣田）

- ・「家庭学習で毎日平均 1 時間以上している（塾や宿題を含む）」が 72%と低いのが気になる。（西尾）
- ・このアンケートは記名式か？（伊藤）
 - 記名式ではないが、出席番号で回答させているので記名式に近い。回答はタブレットで答えさせているので、誰が答えているかはわかる。（廣田）
 - では逆に悪いと答えた生徒にアドバイスしたらどうだろうか？また進路講話についても 1 年生からとか下級生にもやって欲しい。（伊藤）
- ・高い数値であることを望んでいるが、80~90%が並んでいて大変よい数字だと思う。しかし中学生によい数字を望みすぎてはいけないと思う。（自分の娘のことで恐縮だが）中学より高校で、高校より大学で、自身が単位取得で必要と感じてから勉強ができています。こうした事は本人の自覚次第かと思う。（鈴木景）
- ・今回からタブレットでの回答としたことでどの生徒も思ったことを紙以上にしっかり答えてくれているのが判った。（廣田）
- ・冒頭でお話したが、認知症で迷子になったお年寄りを生徒数人で派出所まで連れていってくれた生徒達に、「1人だったとしてもそうしたか」と聞いたときに、生徒は「そうしなかったと思う」といっていたが、それは大人も同じだと思う。だからできることからやる、それが「やっちゃえ天中」なのだと思う。（野秋校長）
- ・保護者アンケートの項目 7 で「学校は地域や家庭と連携して教育活動を進めている」はまさにコミュニティスクールの内容かと思う。（匂坂）
 - いただいた意見を織り込んで次年度以降の学校運営に取り込んでいきたい。（廣田）

（2）学校運営協議会の自己評価について

評価項目 1 「学校運営の基本方針について熟議することができたか」

- ・2 年生の職場訪問や生徒のボランティア活動に関しての熟議、道徳で「命の大切さ」を題材にした授業参観等を通じて「多様性を認める」教育を理解することができた。（伊藤）
- ・校長からグランドデザインの説明があり、目指す子供像などについてよく理解できた。また他の委員の意見を聞くことで、新しく視野を広げることができた。（西尾）
- ・学校運営の基本方針について詳しい説明を受け、学校と家庭、地域が一緒になって子供を育てる教育目標を共有して熟議することができた。（中村）
- ・学校運営の基本方針は学校内で充分協議されていると理解できた。内容は賛同できるものであったので、短時間で共感することができた。（鈴木景）
- ・学校運営協議会の初年度ということで戸惑いもあったが、校長から校訓や学校教育目標の説明を受け、外国人も含めそれぞれの価値観を認め合う多様性の重要性や物事を進めるときの理由付けが大切など、活発な熟議ができたと思う。（鈴木滋）

評価項目 2 「学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。」

- ・中学生のボランティア活動への参加について、募集時の自治会や関係団体と学校との橋渡しの仕組み作りで、また地域防災への参画に関して、中学生の戦力について熟議することができた。（伊藤）
- ・地域の職場訪問や地域ボランティアの募集でコミュニティスクールを通じて要望を集約するなど、必要な支援について積極的に協議することができた。（西尾）

- ・2年生の職場体験の実施報告で地元事業所が快く受け入れてくれたとの報告があり、地域で積極的に支援してくれたことがよく理解できた。学校からのニーズに学校支援CDが中心となって地域との橋渡しをしてくれたことで、このような成果につながったのだと思う。（中村）
- ・（児童委員の活動を通じて感じるのだが、）最近発達障害の子供や心が病んでいる子供が大変増えている。経済的困窮の家庭も増えている。いじめ、不登校、部活動の地域移行などタイムリーな話題で意見交換できたのが良かった。（鈴木景）
- ・休日の学校部活動の地域移行については、部活ごとにサポート体制を詰めていく必要を感じている。今後も都度熟議を重ねていきたい。（匂坂）
- ・運営協議会で熟議できたことにより、学校と地域で相互通行の道筋ができた。学校側から2年生の職場訪問に際して、事業所紹介の打診に運営協議会（学校支援CD）を通じて自治会への調査依頼と受入事業所の学校側への回答、また地域行事への中学生のボランティア募集について学校支援CDを介して学校側に要請する仕組み作りなどで成果があった。（鈴木滋）

評価項目3「今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標」（取組の重点）

- ・委員各位からの説明や、いただいたご意見をもとに、学校側でまとめて教育委員会に報告させていただく。（神谷教頭）

（3）その他

○桜並木の整備（老木の伐採）について

第1回の協議会で話題となった桜並木の剪定と老木の伐採を今月（1月）末に実施する計画でいる。植樹についても夢育やらまいか事業の予算で進めたい。実施については改めて報告する。

（神谷教頭）

□ 浜松市教育委員会から（堀田指導主事）

○第1回から参加させていただいているが、初回の委員各位の活発な意見交換は大変良かったと感じている。今年度は学校のことを知ってもらうことで運営協議会をうまく進めていただいた。2年目以降はそれをベースに熟議を深めていただきたい。

本日話していただいた自己評価の内容は天竜中学校運営協議会としてまとめていただいて、2月末までに教育委員会地域連会グループ宛てに報告をお願いしたい。

以上